



File 3

【小・中学校養護教諭】

令和3年度採用 4年目

塩谷南那須地区(那須烏山市) 勤務

○ 養護教諭を目指したきっかけ、業務内容

高校の進路選択のとき、友人から養護教諭を勧められました。それから、養護教諭について調べていくうちに、小学校や中学校のときにお世話になった笑顔で優しい雰囲気の養護教諭の先生方を思い出し、私もこんな先生になれたらと憧れの気持ちをもったことがきっかけです。

業務内容は、主に健康診断や病気・けがの対応をとおして、児童の健康状態を把握し、健康的な生活習慣を身に付けさせる保健指導を行うことです。

○ 養護教諭としてのやりがい



保健室を利用した児童が「保健室って落ち着くなあ」「先生、治ったよ!」と言ってくれたときや保健委員会の活動で児童が活躍している姿を見るとうれしくなります。

また、児童が来室する主な理由は、心に関することが多いので、話をよく聴いたり、話の内容に応じて担任や保護者と情報共有したりして対応することがあります。身体面だけでなく、精神面でも児童の心に寄り添い、成長を見守ることができる場所にもやりがいを感じます。

○ 職場の環境や研修体制

養護教諭は一人職ですが「わからない」「どうしよう」と思ったときに、職場の先生方や近隣学校の養護教諭に相談に乗っていただいています。時には、ちょっとした雑談で心が癒やされ、居心地のよい環境で勤務させていただいています。常に学びながらの毎日ではありますが、少しでも役に立てるよう頑張りたいと思える職場です。

研修体制は、教育委員会や学校が主催する定期的な研修が設定されており、充実しています。特に、養護教諭同士が集まる研修では、事例や保健指導に関する情報交換・共有が盛んに行われ、現場ですぐに役立つ力になっています。



○ 養護教諭を目指す方へのメッセージ

私は栃木県の採用試験を4回受けました。毎回、2次試験で落ちるたびに、養護教諭に向いていないのではないかと真剣に悩んだときもありました。しかし、養護助教諭として勤務していた頃から、児童生徒や周囲の職員に何度も助けられ、この経験を必ず生かしたいと思い、勤務してきました。

そして今、新規採用から4年目になりました。試行錯誤の毎日であらゆる頭の中は高速回転ですが、よりよい方法を模索しながら仕事をし、児童と過ごす毎日は、とても充実しています。



小・中学校養護教諭のとある1日 / (※勤務時間は参考例です。)

8:00	出勤	○朝は、昇降口の靴箱を確認して、児童の出欠状況を把握します。
8:05～ 8:15	昇降口での靴箱チェック(児童の出席状況の確認) 欠席連絡のシステムチェック	
8:15～ 8:40	水道やトイレの環境整備	○健康観察板を回収する時には、各学級担任に積極的に話かけ、児童の健康状態を確認します。
8:40～ 9:00	健康観察板の回収	
9:00～12:25	保健関係システムの確認、保健だよりや掲示物の作成 来室対応	○給食の時間は、午前中に保健室を利用した児童の様子を観察したり、マスクや手洗いの指導を行ったりしています。
12:25～13:00	給食指導(マスク・手洗い状況の確認) 体調がすぐれない児童の観察・対応	
13:00～13:40	昼休み・清掃	
13:45～15:30	来室対応、石けん等の補充、委員会活動や行事の準備 等	
15:35～16:30	保健日誌の整理、担任等との情報共有	
16:30	退勤	